



地域医療連携室だより

Vol. 59

平成 26 年 5 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

患者総合支援センター所長就任のご挨拶

青木 悦雄



地域の先生方、日頃は色々とお世話になりありがとうございます。
この度、2代目患者総合支援センター所長を拝命いたしました副院長の青木です。
前任の辻村先生同様、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
患者総合支援センターとして発足し1年が経過しました。

地域医療連携室では、先生方から予約・紹介された患者の皆様が時間通りに優先的に診察されるように便宜を図るようにしています。この4月からは、大津市医師会の先生方からは、検査依頼や患者紹介に関してメールを使用することが始まりました。早速、メールでのご紹介が届いています。今後、医療データ（画像を含む）の閲覧等も準備されており、益々、先生方との連携が密になることと思っています。地域医療支援病院にとっては、先生方からのご紹介が最も重要です。紹介状を持参していない患者さんで、「かかりつけ医」をお持ちの場合は、簡単な紹介状（ファックスやメールでも可）を先生方をお願いすることがありますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

訪問看護ステーションでは、地域の医療機関や居宅介護支援事務所および居宅介護サービス事務所との連携に努めています。在宅看取りも先生方と連携し件数が増加していると聞いています。

超高齢社会を迎えるに際し病院だけではなく在宅医療への関心が高まるように地域啓発活動の推進も図っていきたくと考えています。

また、新設された**患者相談支援室**も、その役割、存在が徐々に認識されてきました。先生方より患者の皆様、「病院で色々聞きたいことや悩み事等があれば、まずは患者相談支援室に行きなさい。」とご指導いただければと思います。来室いただいた皆様に満足していただけるよう関わらせていただきます。

お願い事ばかりの就任のご挨拶になりましたが、当センターは患者の皆様および先生方のために開設されたものです。どうぞ遠慮なく、ご利用くださいますようお願いいたします。

平成 25 年 4 月 1 日付けで 3 つの部署を統合し
『患者総合支援センター』と称しています。

患者総合支援センター

地域医療連携室（本館 2 階）

患者相談支援室（本館 1 階）

訪問看護ステーション（別館 1 階）

※裏面フロア図あり

訪問看護ステーション所長就任のご挨拶

大谷 愛子



平成26年4月1日付けで訪問看護ステーション所長を拝命しました大谷です。大津市民病院では、地域・病院を問わず患者支援を図るため患者総合支援センターが組織され、地域医療連携室、患者相談支援室とともに訪問看護ステーションの3者がそれぞれの役割に応じ支援を提供しています。訪問看護ステーションへの期待は、今後の超高齢社会を支える地域包括ケアシステムの構築を進めて行くうえでもますます高まっていると考えます。

当訪問看護ステーションには、看護師が10名在籍し8名が24時間緊急連絡体制を取っています。また、緊急時の状況に応じて休日・夜間にも対応しています。

訪問看護認定看護師も在籍しており、退院調整、退院後の在宅支援、看取りに至るまで、地域その他職種との連携を図りながら安心して在宅療養を送れるように支援しています。

褥瘡処置、緩和ケア、糖尿病患者への指導などは院内の認定看護師と連携を図るなど、質の高い看護を提供するべく日々努力を行っています。

退院後の円滑な在宅移行や在宅療養継続のために、退院時カンファレンスや退院調整カンファレンスなど積極的に参加させていただきたいと考えております。

昨年度は、「市民自らが自分らしい最期を考えるきっかけ」となる在宅看取りにむけての取り組みとして地域住民を対象とした市民公開講座の開催や自治会からの依頼に対し地域包括ケアシステムの中での訪問看護の役割のお話もさせていただきました。また、小学校高学年を対象とした「命の授業」も行いました。今年度も、在宅医療への関心が高まるように市民公開講座の開催はじめ地域啓発活動を継続していきたいと考えています。

地域の皆様方には、様々な場面でお世話になることやお手伝いさせていただくことがあると思います。

今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

